

成功者の会話・失敗者の会話

成功者の会話

Want

判断基準は”やりたい”かどうか。失敗を恐れず、可能性に挑戦し続ける。

Will (意志)

「自分は人間的にどう成長したいのか」「どうなりたいのか」「どうすればよいのか」未来(目的達成)に焦点を当てて考える。一つのゴールを達成すれば、次のゴールに向かって走り続ける。

DO 動詞

やると決めたらすぐに行動に移す。考えながら動く、もしくは考える前に動く。とりあえず行動する。条件は行動しながら揃えていく。色々失敗を繰り返すかもしれないが、確実に前に進むことができる。

Hope (get)

希望があるときモチベーションはあがる。物事のポジティブな側面に焦点を当て、希望の実現に必要なものの獲得(get)を目指す。

Enjoy

なにかをするとき、それが達成されたらどういう結果をもたらされるのか、達成された後のことに焦点が当たり、最終的な目的、生きる目的を達成することに喜びを感じる。また、良い自己訓練を習慣化しそれを楽しみながら実行していく。

能動態

他人の評価はどうでもよく、自分がやりたいからやる。うまくいったかどうかは自分で判断で行い、実現する方法や選択肢、ルールを自分で編み出していく。

自信と誇り

うまくいかない時、うまくいかない現実を認めるが、その原因として自分自身を否定しない。うまくいっても、いかなくてもそれはそれ。自分自身はどんな自分でもOKである。

失敗者の会話

Must

判断基準は”しなければならない”。周りから強要される義務に答えようとするもの。モチベーションは低く、さらに義務に答えることができた瞬間、そのモチベーションはなくなる。

過去形

「なぜそれをしようとするのか」「なぜうまくいかないのか」と過去の体験を起点として考える。ゴールを達成すれば、そこで満足し、現状に甘えるようになる。

BE 動詞

どういう結果になるか調べ、分析し考察してから動く。条件がそろったらやる。まず条件をそろえようとする。もしくは周りの出方を見てからやるかやらないかを判断する。できない理由が先に出るのでどんどん引き伸ばすようになる。

Afraid(avoid)

自分が傷つくことを回避し、不安やリスクを避けることでモチベーションがあがる。不安や恐れに焦点があたりネガティブにものごとを捉え、失敗を恐れ何もしないか、少しでもマイナスな要素を避けようとする。

Pleasure

何かをやるうとするときに、その場の楽しさやワクワク感などの感情、不安や恐れを避けることなど、体験の途中に焦点があたり、人間的な感覚を重視する。目標が漠然としており、気まぐれで場当たりの行動になりがち。

受動態

賞賛や承認など他の人が「認めてくれたら」うまくいったと判断する。他者と比べて自分が優れた状態になることを目的とする。また、うまくいく方法を外部から与えられることを望む。

恥と自己否定

うまくいかない時、うまくできない自分そのものを否定する。(うまくいっている時は、増長する、もしくは自分みたいな人間がうまくいくはずがないと自分を否定する)

